

各位

上場会社名 株式会社 アテクト
 代表者 代表取締役社長 小高 得央
 (コード番号 4241)
 問合せ先責任者 経理・財務グループリーダー 鈴木 基起
 (TEL 072-967-7000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,899	53	38	△11	△3.31
今回発表予想(B)	1,684	30	13	△49	△14.77
増減額(B-A)	△214	△22	△24	△38	
増減率(%)	△11.3	△42.0	△63.4	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	2,120	103	84	5	1.73

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	—	—	—	—	—

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,646	116	105	55	16.73
今回発表予想(B)	1,546	136	120	58	17.58
増減額(B-A)	△99	20	15	3	
増減率(%)	△6.0	17.3	15.2	6.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	1,814	175	168	85	25.61

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	—	—	—	—	—

修正の理由

第2四半期連結累計期間につきましては、当社の主力事業の半導体資材事業は5月頃からのフラットパネル市場の急回復により、当初計画を上回る利益を確保することが出来ました。衛生検査器材事業につきしても、前期からの材料費低減の投資が効果を挙げたことにより、当初計画の利益をほぼ確保することが出来ました。しかし、今回修正に至った理由は、前期に連結子会社とした2社の業績が当初予想していた計画値にいずれも届かずグループ全体の業績を押し下げたためであります。

前期に連結子会社とした2社の概要は以下のとおりであります。

プラスチック造形事業の株式会社ダイブラにおいて、国内顧客である大手液晶パネルメーカーの大阪府下における設備投資の延期が続いており、計画していた売上高の計上が出来ず、売上高は当初計画値176百万円に対し108百万円と△68百万円の差異、営業利益は当初計画値△29百万円に対し△57百万円と△28百万円の差異となりました。ポリマー微粒子事業のトライアル株式会社においては、自動車業界における研究開発費の支出抑制等の影響が続いており、売上高は当初計画値78百万円に対し25百万円と△52百万円の差異、営業利益は当初計画値△13百万円に対し△54百万円と△41百万円の差異、いずれも当初計画値を下回る見込みであります。

経常利益につきましては、プラスチック造形事業およびポリマー微粒子事業の売上高が当初計画値を下回ることにより、連結13百万円(前回発表予想値38百万円)と前回予想値を下回る見込みであります。

四半期純利益につきましては、上記経常利益の見込みから連結△49百万円(前回予想値△11百万円)となる見込みであ

ります。

なお、通期業績予想につきましては、現時点では精度の高い予想を行うことが困難なことから、変更は行いません。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上